

令和2年10月9日

京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会（移住定住部会）
民間プレイヤー（移住者）による4つの分科会プロジェクトが開始

京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会（事務局：舞鶴市）の移住定住部会（幹事市：綾部市）は、昨年度から動き始めた民間プレイヤー（移住者）による4つの分科会プロジェクト（起業事業承継・観光ワーケーション・まちの人事部・コミュニティづくり）が10月31日（土）を皮切りに順次イベント等の事業を開始する。

本協議会は、京都北部地域の5市2町（福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町）が一つの経済・生活圏と捉え、持続可能な地域社会の形成を図り、人口減少を克服し、未来への希望を紡ぐ30万人の連携都市圏を目指して、平成28年度から「7つの重点プロジェクト」に優先的に取り組むことを目標にスタートした。

その1つのプロジェクト「京都府北部UIターンプロジェクト（通称：たんたんターン）」を担当する移住定住部会は、今年度、移住者が民間プレイヤーとなり移住を加速させるために実施する事業と行政が行う事業とを繋げて相乗効果的な移住施策として、活動を継続し関係人口や移住につながるモデルを創出するため、4つの分科会プロジェクトを立ち上げた。各分科会は、持続可能なプロジェクトとして企画し、事業実施しながら効果検証し、次年度以降も継続した取組となるよう進めている。

1 事業内容

- (1) 「海の京都ローカルベンチャースクール」プレイベント（担当：起業事業承継分科会）
日時：10月31日（土）16時00分～18時00分
場所：福知山市市民交流プラザ（〒620-0045 福知山市駅前町400）
開催方法：オンラインとオフラインのハイブリッド方式
※どちらも事前の申込みが必要 オフラインは20名まで
内容：基調講演（フューチャーベンチャーキャピタル 代表取締役社長 松本直人氏）
地元事業者とのパネルディスカッション（地元企業：鳥名子、丹後バル）
参加者からのピッチプレゼン（希望者があれば）
※ 申込み・問い合わせは、<https://uminokyoto.peatix.com/> からお願いいたします。
- (2) 京都北部企業との働き方交流会（仮称）（担当：まちの人事部分科会）
日時：11月28日（土）午後
開催方法：オンラインZoomを予定
対象：京都北部での働き方を考えたい方、ユニークな企業に出会いたい方、就職や転職移住を考えられている方
（※詳細は、決まり次第お知らせします）

2 4つの分科会プロジェクトの事業内容

- (1) 起業・事業承継（担当：京丹後市市長公室政策企画課 0772-69-0120）
（目的）起業家精神を持った人材のUIJターンを促進
（目標）民間ベースで「海の京都ローカルベンチャースクール」開校
7市町における起業家型人材のUIJターンを促進
起業型地域おこし協力隊の導入の検討
- (2) 観光ワーケーション（担当：舞鶴市政策推進部移住・定住促進課 0773-66-1085）
（目的）UIJターン希望者や潜在層に対して、自分の理想とするライフスタイルに近い地域住民と出会う場を設け、移住定住を後押し
（目標）天職観光のスキームを北部7市町で横展開
- (3) まちの人事部（担当：与謝野町観光交流課 0772-43-9016）
（目的）移住定住の促進に必要な「仕事」からアプローチするため、雇用を抱える京

都北部の企業と移住希望者向け求人の受入体制やプログラムを強化することで、職住一体の移住施策の提案

(目標) プログラムのプロトタイプを作り、次年度以降参加企業を増やす流れと機運づくり

京都北部の企業と職住一体の移住者向け求人や受入体制の構築

(4) コミュニティづくり (宮津市企画財政部企画課 0772-45-1607)

(目的) コミュニティの運営体制づくり (メンバーの確保、イベントによるコミュニティ拡大)

(目標) 移住や関係人口創出の最初のステップとなる場づくりと北部の繋がり強化

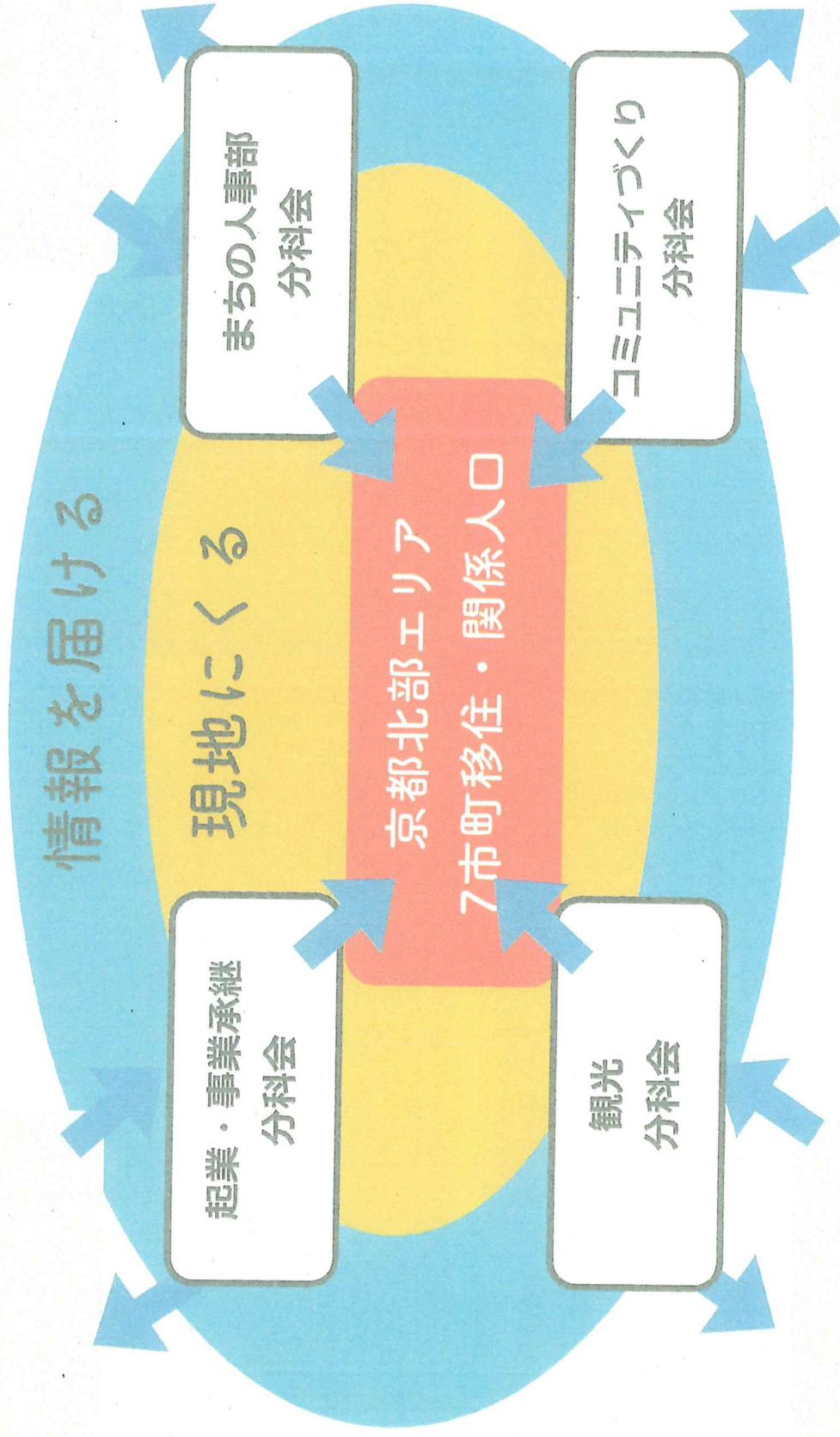
問い合わせ先

○移住定住部会に関すること 綾部市定住交流部定住・地域政策課 0773-42-4270

○京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会に関すること
舞鶴市政策推進部企画政策課 0773-66-1042

※各市町から同じ資料を配布しています。

分科会プロジェクトからの移住の流れ



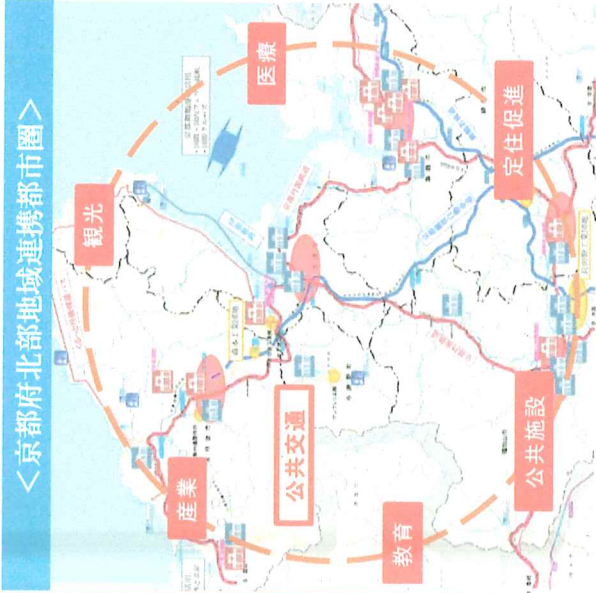
活動すればするほど移住が生まれる仕組み

京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会の概要 ～京都府北部地域連携都市圏における水平型の新たな広域連携～

- ・単独では人口10万人に満たない京都府北部地域の5市2町が、相互連携と役割分担をコンセプトに、中心となる都市を設けない水平型の広域連携により、一つの都市圏を形成し、観光、産業、移住定住、人材育成などの様々な分野においてスケールメリットを生かした取組を推進。
- ・圏域全体における地域循環型の経済成長、高次の都市機能の確保、生活関連機能の向上に協働・連携して取り組み、30万人都市に匹敵する持続可能な経済・生活圏の実現を図ることで、新たな地方創生のモデルとなることを目指す。
- ・平成27年4月、5市2町で協議会を立ち上げ、会長市である舞鶴市に専任事務局を設置。京都府と連携を図りながら、総合調整や補助金の申請事務、連携事業の立案等を行っている。
- ・平成28年度から5年間の連携都市ビジョンを策定し連携事業を推進。現在、令和3年度からの第2期連携都市ビジョン策定に向けた取組を実施。

取組の方向性

< 京都府北部地域連携都市圏 >



○圏域づくりの基本方針

5市2町の個性・特徴の尊重

各市町の個性・取組を尊重する一方、住民の利便性や地域価値の向上に寄与する取組は広域連携を推進

情報共有と総合調整機能の確保
各市町の徹底的な情報共有を図り、事務局の総合調整機能の構築

相互補完型連携の推進

中核的な都市が存在しない圏域において、各市町の強みを生かした相互補完型連携を推進

多様な主体との協働

地元企業や地元金融機関、地域課題に取り組むNPO等との協働

持続可能な都市圏づくり

連携中枢都市圏と同等の支援を受けつつ、既存事業の見直しと新たな施策を展開する



天橋立



長田野工業団地



縁部工業団地

藤本工業団地

主な取組

○連携のスケールメリットを生かした事業を展開

- ・各市町の観光協会を水平統合し設立した「海の京都DMO」を主体とする民間経営の視点に立ったインバウンド観光や周遊観光の推進、観光人材の育成
- ・圏域内の生産者と事業者の出会いを創出する「農商ビジネス商談会」の開催
- ・圏域内の企業が都市部で開催する大規模な合同企業説明会
- ・北部唯一の4年制大学である福知山公立大学と連携した学生の地元定着を促進する事業や、域内の住民を対象とした生涯学習講座の開催
- ・公共施設等(図書館や加圧式給水車)の相互利用・共同整備による行政コストの効率化
- ・北部圏域への移住・定住を促進するため、空き家・仕事等の情報発信、地域リーダーの育成
- ・消防指令センターの共同運用など、従来の自治体消防の枠を超えた新たな消防
- ・広域連携の推進
- ・「京都水道ランドデザイン」に基づき、5市2町で協議会を設立し、課題解決に向けた広域連携・広域化の推進



※「農商ビジネス商談会」



※5市2町による合同企業説明会



※海の京都DMOフォーラム